RI 第2640地区

持続可能な
インパクトを
生み出そう

有田2000ロータリークラブ

Rotary Arida2000

Club Bulletin No.1129

会　　長　　樋口　明
幹　　事　　神山　裕介
クラブ会報委員長　加納　恒儀

ロータリー財団月間

四つのテスト 言行はこれに照らしてから
1．真実かどうか
2．みんなに公平か
3．好意と友情を深めるか
4．みんなのためになるかどうか

例会日／毎週水曜日　１９：００
事務局・例会場／〒643-0025
有田郡有田川町土生４０９
吉備インターゴルフセンター
ＴＥＬ０７０－１８２１－３４６６
ＦＡＸ０５０－３１８３－７１３４
Ｅ－mail：info@arida2000rotary.club
ＵＲＬ：http://arida2000rotary.club/

本日のプログラム
令和８年　１１月　１８日（水）
第１１３０回

ソング「君が代」「奉仕の理想」
会長の挨拶　幹事報告　委員会報告
有田ロータリークラブ
直前会長　木本　隆昭様

次回のプログラム
１２月　２日　年次総会
１２月　９日　お宮清掃活動
１２月１９日　クリスマス移動例会





質疑応答
謝辞　RLI　日本支部　地区代表　上野山栄作様

前回の報告　（第１１２９回例会）

令和８年１１月１５日（日）
場所：橘屋
有田RCロータリーカレッジ
テーマ　「ロータリーを楽しむために」
１７：００～
開会点鐘　会長　菅原佳典様
来賓・ビジター紹介　SAA　橘爪誠治様
開会挨拶　会長　菅原佳典様







講演
中村靖治様
ＲＩ第２７３０地区 ジャパンカレントＲＥＣ
ロータリーの真髄を生きるロータリアン、経験や思いを語っていただきこれからのヒントにしたいと考えます。



閉会挨拶　樋口会長挨拶
本日は有田ＲＣさんのロータリーカレッジに、例会を兼ねて参加させていただきました。中村先生、貴重なお話をありがとうございました。有田ＲＣの皆様、準備ありがとうございました。

幹事：神山裕介君

有田ＲＣ主催のロータリーカレッジに参加しました。有田の３クラブに加え、近隣のクラブや遠く広島からも参加があり、会場はいっぱいに。講演のあとの懇親会では、他クラブの皆様と和やかに交流し、「有田の３クラブで力を合わせていこう」という声が何度も上がりました。楽しく、学びの多い一日となりました。

中村靖治先生のお話「ロータリーを楽しむために」

中村先生は34歳で入会し、ロータリー歴は46年。ガバナーやＲＬＩ（ロータリー・リーダーシップ研究会）の要職を務めてこられた経験から、ロータリーを楽しむための心構えをお話しくださいました。

ロータリーの最高の喜びは「出会い」であり、ロータリーは「自分探しの旅」だと先生は言います。志を持ち続けること、そして自分がやってきたことに誇りを持つことを忘れないでほしい、と。

奉仕については、まず家庭から始まり、クラブ、地域、そして世界へと広がっていくもの。元ＲＩ会長の田中作次さんの言葉も紹介されました。財団への寄付も、無理に集めるのではなく、納得していただいた方にお願いするもの。理解が広がれば、クラブの小さな拠出でも、財団の仕組みで大きな事業になります。

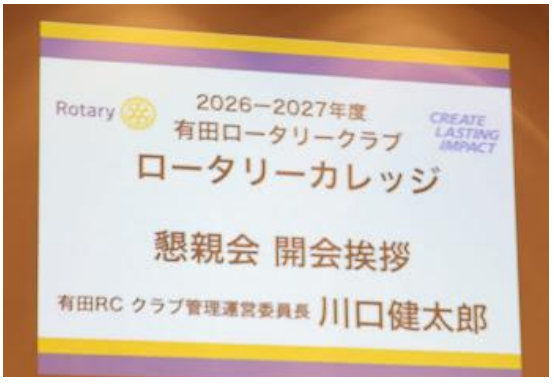
クラブの運営については、日本のクラブの平均は約30人ですが、会員が減ったときに立て直す力を保つには50人前後が要る、とのお話がありました。年長者は副役に回って、若い人に会長の成功体験を渡すこと。会員を増やすだけでなく、続けてもらうことが大事だと強調されました。そして、文化の違う有田の３クラブが力を合わせて、有田で活躍するのが一番いい、と私たちへの励ましもいただきました。

また、国際ロータリーは世界に一つで、その会員はクラブであること（「国際ロータリークラブ」という言い方は誤り）、大事にする５つの価値観（親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップ）にも触れられました。四つのテストは他人に当てはめるものではなく、自分が言う前・動く前に照らす、自分の内面の言葉だというお話は、特に心に残りました。

最後に、ロータリーを楽しむための３つとして「無理をしない」「クラブの中に心を開ける好きな人をつくる」「小さなことでも自分で続ける」を挙げられました。「好きな人がいれば、また今週も会えると楽しみになる」という言葉に、会場から笑顔がこぼれました。









懇親会

しばらく中止しておりました、ロータリーカレッジ、各クラブにとって学びの多い時間となりました。今後も３クラブ力を合わせて活動していくことは、とっても心強いことです。交流や連携を深め、共に歩んでいければとと思います。

の挨拶　直前会長　木本隆昭様